

つくばスマートシティ協議会

令和2年度 第1回総会資料

令和2年6月12日

総 会 次 第

- 1 第1号議案 つくばスマートシティ協議会役員の選任について
- 2 第2号議案 つくばスマートシティ協議会規約の改正について
- 3 参考資料 つくばスマートシティ協議会会員名簿

第1号議案

つくばスマートシティ協議会役員の選任について

1 選任の理由および任期

前監事の任期が、規約付則に基づき、令和2年3月31日で満了になったことから、規約第9条第2項に基づき、会員の中から監事を総会において選任する必要があるため。

2 前監事

つくば市長 五十嵐 立青

3 選任 (案)

株式会社常陽銀行 地域協創部 部長 川島 弘行

4 参考

- ・規約第9条
- ・附則

第2号議案

つくばスマートシティ協議会規約の改正について

1 改正趣旨

これまで本協議会では、令和元年度に採択された国土交通省「スマートシティモデル事業」及び「新モビリティサービス推進事業」など、主に移動分野に焦点を置いた事業に取り組んできた。

一方で、都市のスマートシティ化という観点からは、移動分野に限らず、医療介護福祉、インフラ、防災、行政サービスなど、地域が抱える様々な分野の地域課題の解決に先端技術を活用してることが期待されており、先般、先端技術を活用した都市「スーパーシティ」構想の実現に向けた国家戦略特別区域法の一部を改正する法律も成立している。

については、本協議会でも様々な分野の地域課題を対象としてスマートシティ化の取り組みを進めていくため、協議会規約を改正することで、体制の強化並びに事業推進力の向上を図る。

2 改正のポイント

- (1) 目的の改正（第2条関係）
- (2) 茨城県知事、つくば市長の会長2名体制への移行、参与・常任幹事・幹事の設置（第9条、第10条関係）
- (3) 幹事会の設置（第4条、新第12条関係）
- (4) 分科会の設置（第4条、新第13条関係）
- (5) その他必要な規定の整備（新第14条、新15条関係ほか）

3 規約改正案（案）

別紙1のとおり

4 新旧対照表

別紙2のとおり

つくばスマートシティ協議会名簿

企 業	研究機関等	地方自治体
鹿島建設株式会社	国立大学法人筑波大学	茨城県
関東鉄道株式会社	国立研究開発法人産業技術総合研究所	つくば市
KDDI 株式会社	茨城県科学技術振興財団	
CYBERDYNE株式会社		
株式会社常陽銀行		
日本電気株式会社		
株式会社日立製作所		
三菱電機株式会社		

つくばスマートシティ協議会規約（案）

(令和元年6月27日制定)

(令和 年 月 日改正)

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、つくばスマートシティ協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、各機関が協力・連携して、筑波研究学園都市の都市基盤と科学技術イノベーションに対する市民の高い理解をSociety 5.0の実装フィールドとし、つくば地域の課題解決と都市機能の向上に資するため、デジタル・ロボティクス等最先端技術とこれに呼応する施策を連携させて形成する「つくばスマートシティ」の実現を目指す。民間活力を活かし、研究学園都市に集積する教育・研究機関の活動とも連動することで、つくばの競争力を高め、そこから新たな成長産業を創出する好循環を生み出し、便利で快適な人中心の未来都市モデルを構築する。これにより世界有数の筑波研究学園都市を擁するつくば市及び茨城県全体の持続的発展に寄与することを目的とする。

(所掌)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) スマートシティの構築に関すること
- (2) その他協議会の目的を達成するために必要なこと

(組織)

第4条 協議会は、前条の事業に関して、多角的に方向性を検討するため、最高運営会議を設置することができる。

- 2 協議会に幹事会を設置する。
- 3 幹事会は、必要に応じて分科会を設置することができる。
- 4 協議会は、必要に応じて、外部識者等を参加させることができる。

第2章 会員

(会員)

第5条 協議会の会員は、第2条の目的に賛同する企業、教育・研究機関、地方公共団体、その他の団体とする。

(入会)

第6条 協議会に入会しようとする者は、様式第1号の入会申込書により会長に申し込まなければならない。

- 2 入会は会長の承認をもって成立するものとする。

(退会)

第7条 会員は、退会しようとするときは、その旨を様式第2号により会長に届けなければならない。

2 退会は、会長の承認をもって成立するものとする。

(除名)

第8条 会員が、協議会の名誉を毀損し、又は協議会の設立の目的に反する行為をしたときは、総会において会員の過半数の賛同を得られたときはこれを除名することができる。

第3章 役員

(役員)

第9条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 2名
- (2) 参 与 1名
- (3) 常任幹事 2名
- (4) 幹 事 4名以内
- (5) 監 事 1名

2 会長は、茨城県知事及びつくば市長の職にある者をもって充てる。

3 参与は、筑波大学長の職にある者をもって充てる。

4 常任幹事は、茨城県産業戦略部技術振興局長及びつくば市政策イノベーション部長の職にある者をもって充てる。

5 幹事は、会長が指名する会員（教育・研究機関から2者以内、企業及びその他の団体から2者以内）をもって充て、指名を受けた会員は、所属職員の中から1名、幹事となるべき者を推薦するものとする。

6 監事は、会長が指名する会員をもって宛て、指名を受けた会員は、所属職員の中から1名、監事となるべき者を推薦するものとする。

7 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

(役員職務)

第10条 会長は、共同して協議会を代表し、会務を総理する。

2 参与は、会長のいずれかに事故あるとき、又は欠けたときはその職務を代理する。

3 常任幹事及び幹事は、協議会の目的を円滑に達成するため、必要な事務を執行する。

4 監事は、会務及び会計を監査する。

第4章 会議

(総会)

第11条 総会は、会員によって構成し、原則として年1回開催する。ただし、会長が認めたときは必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会を開催する暇がないとき、若しくは社会情勢により召集が困難と認めるとき、又は軽微な事案の場合には、書面により総会を行うこともできるものとする。

2 総会は、会長が召集し主宰する。

3 総会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 事業計画及び収支予算

- (2) 事業報告及び収支決算
- (3) 規約の改正
- (4) その他協議会の運営に関する重要事項

(幹事会)

第12条 幹事会は、常任幹事及び幹事によって構成する。

- 2 幹事会は、常任幹事が招集し主宰する。
- 3 幹事会は、協議会の運営全般に係る次の事項について方向性を定め、その処理結果を総会に報告するものとする。
 - (1) 協議会の運営に関する事項
 - (2) スマートシティ推進に関する重要事項及び総合調整に関する事項
 - (3) 分科会の設置、改廃及び進捗管理に関する事項
 - (4) 分野間連携の方策検討に関する事項
 - (5) その他総会の議決を要しない事業の執行に関する事項
- 4 主宰者は、必要に応じて会員及び外部有識者に出席を求めることができる。

(分科会)

第13条 分科会は、当該分科会の対象分野に関して必要な知識又は経験等を有する会員によって構成する。

- 2 分科会のリーダーは、互選により選出する。
- 3 分科会は、分科会のリーダーが招集し主宰する。
- 4 分科会は、第3条の事業の執行に関して、当該分科会の対象分野における事業計画案を検討し、幹事会へ報告するものとする。
- 5 主宰者は、必要に応じて外部有識者に出席を求めることができる。

(定足数)

第14条 総会は、会員総数の過半数の出席がなければ開催することができない。

- 2 幹事会は、幹事総数の過半数の出席がなければ開催することができない。
- 3 前2項の規定にかかわらず、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席者とみなす。

(議決)

第15条 総会及び幹事会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可決同数のときは、主宰者の決するところによる。

第5章 会計

(会計)

第16条 協議会が第3条で行う事業の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 前項の負担金は、総会において事業の内容等を考慮し、応分の負担金額を決定する。
- 3 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。
- 4 協議会の予算は、毎会計年度開始前に作成し、総会の承認を得なければならない。
- 5 前項の規定にかかわらず、総会の承認の前の収入支出については、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ、収入支出することができる。
- 6 前項の収入支出は、新たに成立した予算に基づくものとみなす。

第6章 その他

(事務局)

第17条 協議会の事務を処理するため、茨城県産業戦略部技術振興局及びつくば市政策イノベーション部に事務局を置く。

- 2 事務局は、原則として茨城県、つくば市及び筑波大学の職員をもって構成する。
- 3 事務局には、事務局長、副事務局長、次長、次長補佐及び書記をもって構成し、会長が委嘱する。
- 4 事務局長は、会長が任免する。

(解散)

第18条 協議会は、第2条の目的を達成したときは、総会の議決を経て解散する。

(雑則)

第19条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

付 則

- 1 この規約は、令和元年6月27日から施行する。
- 2 協議会の設立当初の監事の任期は、第9条第3項の規定にかかわらず、設立日から令和2年3月31日までとする。
- 3 協議会の設立当初の会計年度は、第12条第3項の規定にかかわらず、設立日から令和2年3月31日までとする。

付 則

この規約は、令和 年 月 日から施行する。

つくばスマートシティ協議会規約 新旧対照表

改正案	現行
<p>第1条 (略)</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 協議会は、各機関が協力・連携して、<u>筑波研究学園都市の都市基盤と科学技術イノベーションに対する市民の高い理解をSociety 5.0の実装フィールドとして活用し、つくば地域の課題解決と都市機能の向上に資するため、デジタル・ロボティクス等最先端技術とこれに呼応する施策を連携させて形成する「つくばスマートシティ」の実現を目指す。民間活力を活かし、研究学園都市に集積する教育・研究機関の活動とも連動することで、つくばの競争力を高め、そこから新たな成長産業を創出する好循環を生み出し、便利で快適な人中心の未来都市モデルを構築する。これにより世界有数の筑波研究学園都市を擁するつくば市及び茨城県全体の持続的発展に寄与することを目的とする。</u></p> <p>(所掌)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>(組織)</p> <p>第4条 協議会は、<u>前条の事業</u>に関して、多角的に方向性を検討するため、最高運営会議を設置することができる。</p> <p><u>2 協議会に幹事会を設置する。</u></p> <p><u>3 幹事会は、必要に応じて分科会を設置することができる。</u></p> <p><u>4 協議会は、必要に応じて、外部識者等を参加させることができる。</u></p>	<p>第1条 (略)</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 協議会は、各機関が協力・連携して、<u>高齢者や障害者など、誰もが安全・安心に生活していくための基盤となる移動について、AIやIoT等の最先端技術を活用した次世代モビリティを社会実装し、自動車依存度が高い地方都市における課題解決モデルとして構築することを目的とする。</u></p> <p>(所掌事項)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>(組織)</p> <p>第4条 協議会は、<u>スマートシティの構築</u>に関して、多角的に<u>政策</u>の方向性を検討するため、最高運営会議を設置することができる。</p> <p><u>2 協議会は、事業の円滑な推進を図るため、事業内容に応じて、委員会を設置することができる。</u></p> <p><u>3 協議会は、必要に応じて、外部識者等を参加させることができる。</u></p>

第2章 会員

(会員)

第5条 協議会の会員は、第2条の目的に賛同する企業、教育・研究機関、地方公共団体、その他の団体とする。

第6条—第8条 (略)

第3章 役員

(役員)

第9条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 2名
- (2) 参 与 1名
- (3) 常任幹事 2名
- (4) 幹 事 4名以内
- (5) 監 事 1名

2 会長は、茨城県知事及びつくば市長の職にある者をもって充てる。

3 参与は、筑波大学長の職にある者をもって充てる。

4 常任幹事は、茨城県産業戦略部技術振興局長及びつくば市政策イノベーション部長の職にある者をもって充てる。

5 幹事は、会長が指名する会員（教育・研究機関から2者以内、企業及びその他の団体から2者以内）をもって充て、指名を受けた会員は、所属職員の中から1名、幹事となるべき者を推薦するものとする。

6 監事は、会長が指名する会員をもって宛て、指名を受けた会員は、所属職員の中から1名、監事となるべき者を推薦するものとする。

第2章 会員

(会員)

第5条 協議会の会員は、第2条の目的に賛同する企業、研究機関、地方公共団体、その他の団体とする。

第6条—第8条 (略)

第3章 役員

(役員)

第9条 協議会には、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 監 事 1名

2 役員は、総会において選出する。

3 役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

7 役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(役員の職務)

第10条 会長は共同して協議会を代表し、会務を総理する。

2 参与は、会長のいずれかに事故あるとき、又は欠けたときはその職務を代理する。

3 常任幹事及び幹事は、協議会の目的を円滑に進めるため、必要な事務を執行する。

4 監事は、会務及び会計を監査する。

第4章 会議

(総会)

第11条 総会は会員によって構成し、原則として年1回開催する。ただし、会長が認めたときは必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会を開催する暇がないとき、若しくは社会情勢により召集が困難と認めるとき、又は軽微な事案の場合には、書面により総会を行うこともできるものとする。

2 総会は会長が召集し主宰する。

3 (略)

(幹事会)

第12条 幹事会は、常任幹事及び幹事によって構成する。

2 幹事会は、常任幹事が召集し主宰する。

3 幹事会は、協議会の運営全般に係る次の事項について方向性を定め、その処理結果を総会に報告するものとする。

(1) 協議会の運営に関する事項

(2) スマートシティ推進に関する重要事項及び総合調整に関する事項

(役員の職務)

第10条 会長は協議会を代表し、会務を総理する。

2 監事は、会務及び会計を監査する。

第4章 会議

(総会)

第11条 総会は会員によって構成し、原則として年1回開催する。ただし、必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会を開催する暇がないとき、もしくは軽微な事案の場合には、書面により総会を行うこともできるものとする。

2 総会は会長が召集する。

3 (略)

(新設)

(3) 分科会の設置、改廃及び進捗管理に関する事項

(4) 分野間連携の方策検討に関する事項

(5) その他総会の議決を要しない事業の執行に関する事項

4 主宰者は、必要に応じて会員及び外部有識者に出席を求めることができる。

(分科会)

第13条 分科会は、当該分科会の対象分野に関して必要な知識又は経験等を有する会員によって構成する。

2 分科会のリーダーは、互選により選出する。

3 分科会は、分科会のリーダーが招集し主宰する。

4 分科会は、第3条に定める事業の執行に関して、当該分科会の対象分野における事業計画案及び予算案の策定並びにその他必要な事務を処理する。

5 主宰者は、必要に応じて外部有識者に出席を求めることができる。

(定足数)

第14条 総会は、会員総数の過半数の出席がなければ開催することができない。

2 幹事会は、幹事総数の過半数の出席がなければ開催することができない。

3 前2項の規定にかかわらず、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席者とみなす。

(議決)

第15条 総会、幹事会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、主宰者の決するところによる。

第5章 会計

(会計)

(新設)

(新設)

(新設)

第5章 会計

(会計)

第16条 協議会が第3条で行う事業の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

2 前項の負担金は、総会において事業の内容等を考慮し、応分の負担金額を決定する。

3—6 (略)

第6章 その他

(事務局)

第17条 協議会の事務を処理するため、茨城県産業戦略部技術振興局及びつくば市政策イノベーション部内に事務局を置く。

2 事務局は、原則として茨城県、つくば市及び筑波大学の職員をもって構成する。

3 事務局には、事務局長、副事務局長、次長、次長補佐及び書記をもって構成し、会長が委嘱する。

4 事務局長は、会長が任免する。

(解散)

第18条 協議会は、第2条の目的を達成したときは、総会の議決を経て解散する。

第19条 (以下略)

付則 (略)

第12条 協議会が第2条の目的達成のために行う事業の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

2 前項の負担金は、協議会において事業の内容等を考慮し、応分の負担金額を決定する。

3—6 (略)

第6章 その他

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、茨城県産業戦略部技術振興局内に事務局を置く。

2 事務局は、原則として茨城県、つくば市及び筑波大学の職員をもって構成する。

3 事務局には、事務局長、副事務局長、次長、総括補佐及び書記をもって構成し、会長が委嘱する。

4 事務局長は、会長が任免する。

(解散)

第14条 協議会は、事業の目的を達成したとき、総会の議決を経て解散する。

第15条 (以下略)

付則 (略)